

百人一首10首チャレンジ

上の句と下の句を線で結びましょう

名前：_____ 日付：_____年____月____日

上の句	下の句
1. 秋の田の かりほの庵の	ア わが衣手は 露にぬれつつ
2. あしびきの 山鳥の尾の	イ われても末に 逢はむとぞ思ふ
3. 天の原 ふりさけ見れば	ウ ながながし夜を ひとりかも寝む
4. 花の色は 移りにけりな	エ 霧立ちのぼる 秋の夕暮
5. ちはやぶる 神代も聞かず	オ からくれなゐに 水くくるとは
6. ひさかたの 光のどけき	カ 春日なる 三笠の山に出でし月かも
7. めぐり逢ひて 見しやそれとも	キ しづ心なく 花の散るらむ
8. 夜をこめて 鳥のそらねは	ク わが身世にふる ながめせしまに
9. 瀬をはやみ 岩にせかるる	ケ よに逢坂の 関はゆるさじ
10. 村雨の 露もまだ干ぬ	コ 雲がくれにし 夜半の月かな

百人一首10首チャレンジ ― 解答

1. 秋の田の かりほの庵の → ア（わが衣手は 露にぬれつつ）
2. あしびきの 山鳥の尾の → ウ（ながながし夜を ひとりかも寝む）
3. 天の原 ふりさけ見れば → カ（春日なる 三笠の山に出でし月かも）
4. 花の色は 移りにけりな → ク（わが身世にふる ながめせしまに）
5. ちはやぶる 神代も聞かず → オ（からくれなゐに 水くくるとは）
6. ひさかたの 光のどけき → キ（しづ心なく 花の散るらむ）
7. めぐり逢ひて 見しやそれとも → コ（雲がくれにし 夜半の月かな）
8. 夜をこめて 鳥のそらねは → ケ（よに逢坂の 関はゆるさじ）
9. 瀬をはやみ 岩にせかるる → イ（われても末に 逢はむとぞ思ふ）
10. 村雨の 露もまだ干ぬ → エ（霧立ちのぼる 秋の夕暮）